

役員所感

副理事長 中村 茂雄

【基本方針】

1964年に上越JCが設立され本年で48年目を迎えます。そんな伝統ある上越JCを取り巻く環境は、長引く不況や人口減少社会、それに伴う会員減少など設立当初から急速に変化しているといえます。しかしながらそんな時代だからこそ、メンバー一人ひとりが置かれた現状を認識し、JAYCEEとして地域にそしてLOMに対して出来る事を共に考え日々実践していく事が必要であり、この閉塞した状況を打破する事へと繋がっていくものと考えます。

成熟社会を迎えた日本では、人々の価値観が多様化し同じ物事を多角的に見る目を求められます。わたしたちは、伝統を継承しながらも、大所からの目と局所での実践により時代の変化に対応し進化していかなければなりません。まずは、近年蔓延しつつある価値観の多極化やメンバーの意識の低下に対して、礼節や人を敬う心といった、先輩諸氏から脈々と受け継がれてきた人としての根幹となるもの伝えてまいります。そしてJAYCEEとして自己研鑽を重ね進化していく事で、同じ志をもつ仲間へ共鳴の輪を広げてまいりたいと考えます。また公益社団法人格に移行する本年、今まで以上に公益性、透明性もった運動が求められます。責任世代として地域住民として、他人任せにすることなく独自性をもった運動を展開していく事が必要です。地域の可能性をJCが探り、作り、そして結び付ける事で地域から頼られる団体となり社会的責任を果たす公益性の高い団体となって行くものと考え実践してまいります。担当室のメンバーと共に、物事の原理原則を見極め、地域に誇れ、継承される新たなる価値の創造と交通インフラの整備によって起こる新たなる問題解決を考え、運動を起こして参りたいと考えます。

本年度、藤井理事長のもと副理事長としてLOMの運営をサポートし、上越JCの歴史の重みを十分に感じながら、「よいまちには、よいJCがある」と言われるような責任と自覚をもった運動を通して地域の人々から信頼される青年会議所となるよう、全力で職務を全うする所存です。